

■筑西市「道の駅」整備基本構想・基本計画への御意見・御提案の概要

1. 筑西市「道の駅」整備基本構想・基本計画に関する御意見

項目	ご意見内容
構想・計画の策定に関する御意見	<ul style="list-style-type: none"> ○全市民の参画意識を高める。道の駅計画について、市民に関心を持ってもらうことが必要。設立までの過程について周知方法の工夫をすることや、市民意見の聴取方法を工夫するなど、PRしていくことが必要。市民全員参加の機運をつくる。 ○現在想定される大方の規模（予算、敷地面積）等の提示をお願いしたい。 ○若い人の意見も取り入れ幅広い視野から構想を考えていくと良い。 ○公募・事務局とメンバーの希望者で、みんなの意見をランク付けしやすい”ものづくりQCストーリー”を活用した会合ができないか。 ○全国の道の駅を調査し、うまく行っているやり方を学ぶ。各道の駅の良いところ・成功しているアイデアを企画の原点に考えれば良い。「もてぎ」「どまんなかたぬま」「内子フレッシュパークからり（以下内子からり）」「田園プラザ川場」。 ○施設毎の各種補助金の活用による設立資金削減も必要。 ○道の駅「筑西」（仮称）のユニークさ、オリジナリティー、魅力を打出すことが必要。リピーターがたくさん来てくれることがポイント。 ○取り入れるべき要素としては、妊婦にやさしい、育児世代の取り込み、老人・身体障害者への思いやり、バリアフリー、女性の出番づくり、老人から壮年、子供へのバトンタッチなど。 ○「道の駅アイデアコンテスト（仮称）」等で、市民よりアイデアを募り、地域に埋もれた魅力あるアイデアを引き出すことも考えられる。
コンセプトに関するご意見	<ul style="list-style-type: none"> ○重要な精神は「おもてなしの心」にある。 ○交流人口の拡大策も合わせて考えるとよい。 ○地域の活性化や魅力の創出のため、どのような機能を持たせるかが重要。 ○「道の駅」のタイプとして、地域センター型とゲートウェイ型のどちらに偏しても問題があると思われる。要はバランスの問題。 ○筑西市のみではウリに少し欠けると感じるため、結城市や桜川市との協力が良い。 ○栃木・群馬方面から見た場合、筑西市は、茨城の入り口ともいえるので、他県からの観光や物流の通り道である特色を活かせるような、茨城県全体が盛り上がるような計画になってもらいたい。 ○通過型でなく、滞在型又は目的地型を目指すべき。（買い、食べ、遊び、過ごせる“全市民（老若男女）の憩いの場”） ○地域住民がとくに用がなくともなんとなく行きたくなるような場所。 ○筑西産にこだわる。地元で採れたもの、地元で加工したもの（6次産業）に限定する。 ○採れたてにこだわり、収穫したばかりの超新鮮野菜をお客様にジャストインタイムで提供する。 ○筑西市の広告塔、情報発信基地の役割を担う。 ○“市民全員の市民全員による市民全員のための道の駅”。 ○施設を通して「地域雇用創出や経済の活性化を図る」「全市民及び利用者へ憩いや元気を提供する」ことをもっと前面に押し出すべき
その他	<ul style="list-style-type: none"> ○なるべく早く工事の着工をお願いしたい。

2. 具体的な施策に関する御意見

項目	ご意見内容
施設整備（ハード）に関する御意見	<ul style="list-style-type: none"> ○道路が4車線になった場合、出入り口の設計を早めに設定すること。 ○社会の形成や学習の場となるような空間。 ○駐車場は緊急時のヘリポート等、防災対策での利用も検討したほうがよい。 ○自然を感じられるような施設。ウォーキングロード、小川、ビオトープなどの自然観察ができる場、花畑。 ○多様な世代の人が集い、社会形成ができるようなふれあいの場所づくり。 ○乳児連れでも気兼ねなく楽しめる施設（授乳室、電子レンジの完備）。 ○農産物直売所やレストランの整備。 ○地域のレクリエーション施設の整備。 ○リラクゼーション施設（マッサージ、足湯など）。 ○公園、遊具、イベント広場の整備。 ○雨天時の往来で雨に濡れない工夫。2階建施設や屋根付きの通路など。 ○がらんとならないよう適切なスペース配分に注意が必要。 ○ガソリンスタンドの設置。 ○寛ぎスペース。輪投げやダーツ等で遊べる施設。 ○会議室、展示室（写真展や絵画展の開催）。
運営内容（ソフト）に関する御意見	<ul style="list-style-type: none"> ○防災拠点の併用として備蓄倉庫を設置。 ○地域密着型の体験マップを発行し、インフォメーションで発信。 ○物販施設においては近隣市町村の特産品等の取り入れについても考慮する。 ○レストランでは地元食材を使った独自メニュー開発、発信し、地産地消の推進をする。（筑西市のお母さんパワーの活用、市民からのメニュー公募など） ○離乳食メニューの提供。 ○レジャー機能、観光ガイド機能などの観光インフォメーション機能。 ○ひな祭りや夏祭り等、市内で行われる行事のメイン会場とする。 ○教育、学習の場づくり（地元企業との連携等）。「ロボットで”遊ぶ”と”ものづくり”を体験」「エネルギーの現状と未来を模型とパネル等で」「食品の出来る迄を模型とパネル等で」 ○筑西きむちなどの地元特産物の製造販売を実施。試食販売。 ○グルメ祭りの開催。 ○市外との展示物の交流と映画祭の開催（映画村のイメージ）。道の駅づくりのドラマ化（オープンに合わせ公開）。 ○道の駅を起点にサイクルロードの整備。「四季を通して名所めぐり。（サケの遡上と産卵を川底（横）の観察室で）」 ○近くに移住村（モデルは、群馬みなかた たくみの里）をつくる。 ○地元の野菜等を使った料理教室の実施。 ○ドライバー向けのお弁当販売。 ○県内の工場で加工された品物を多く扱うことでオリジナル感と地産地消のイメージが根付くのでは。 ○筑西市産物に限らず、県内の話題商品を扱い、茨城県全体の広告塔を目指す。 ○遅い時間にもスタンプが押せるようにしてもらいたい。

	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の高齢者等が気軽に来られるよう、送迎バスなどの交通手段について検討する必要がある。 ○地元産の米の活用（精米無料サービス、日本一のミルキークイーンの売込み）。 ○地元産の野菜・果物に限定して販売。超新鮮、とれたてを目玉に。 ○鮮度追求システムの構築、低価格（スーパーマーケット比）。 ○筑西ブランドの特産品の開発と販売促進。 ○地元食材の加工品（6次産業化）（市民全員からのアイデア募集等で継続的に行っていける仕組みを作る）筑西市産の野菜を使用した「ホットサンド」など。 ○手作り品コーナーを設け、筑西のおじいちゃん・おばあちゃん達の出番をつくる（子供に手作りの味、夢を与えるもの（竹細工、木工品、おもちゃ、飾り物等））。 ○現在、既に市民活動として行われていることを道の駅と協働で実施することで相乗効果を狙う（フリーマーケット、クラフト展等）。 ○情報発信（ソーシャルメディア（HP等）による全国へのPR、ファンクラブの設置、会報誌の発行）。
整備・運営手法に関する御意見	<ul style="list-style-type: none"> ○健全な経営のための管理運営法を適用すべき（決して赤字にしないこと）。